



地域に暮らす人々と共に心あたたかな医療をすすめたい

特集

チームで取り組む排尿ケア

- ▶ チーム八鹿病院 健康センター
- ▶ インタビュー 内科（腎臓内科） 町口医師
- ▶ 看護部だより 安心できる言葉かけ
- ▶ 教えて！健康コラム 低線量CT検診と放射線被ばく
- ▶ トピックス ワクチン追加接種（3回目）開始 他
- ▶ インフォメーション 令和5年度公立八鹿病院組合 正規職員募集 他

2022

4
月号

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



排尿ケアチームカンファレンスのようす

チームで取り組む 排尿ケア

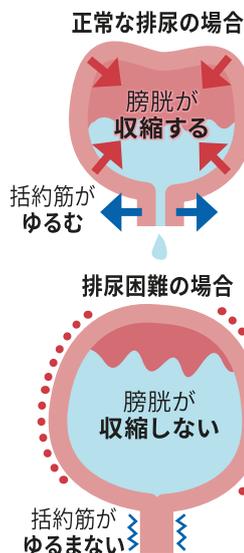
排尿トラブルを減らして
スムーズに元の生活へ

病気や手術後に尿道に入れるカテーテルは感染の原因やリハビリの妨げにもなるため、早く自力で排尿ができることが望まれます。当院では患者さんの自力排尿を支援する「排尿ケアチーム」が積極的に活動しています。

**尿道カテーテルは、さまざまな
トラブルに繋がりがやすい**

病気や手術などの治療のために尿道カテーテル（膀胱内にカテーテルを留置して尿を体外に導き出す方法）を長期に使用することがあります。その場合、尿道カテーテルを抜いたときに、次のような排尿トラブルがおこることがあります。

- 膀胱に尿が溜まっているのに、自分で尿を全く出せない（尿閉）がある（排尿困難）
- 尿が漏れる（尿失禁）
- 尿の回数が多くなる（頻尿）など



また、普段は少量の菌が膀胱内に存在しますが、カテーテルによる異物反応で細菌が増え、炎症がおこる「尿路感染症」を引き起こし、体力の低下があれば発熱を伴う腎盂腎炎を発症します。

さらに、尿道カテーテルを使用すると自力で排尿する必要がなくなるため、ベッド上で生活する時間が多くなり、全身の筋力低下に繋がることもあります。

排尿ケアチームとは

排尿ケアチームは、医師・看護師・理学療法士からなる医療チームです。尿道カテーテルを使用した入院中の患者さんを対象に、早期の抜去と適切な排尿ケアを実施します。適切なケアをおこなうことで尿路感染症の防止やスムーズな元の生活への復帰を支援し、早期退院や寝たきり患者

排尿ケアチームのメンバーと役割

患者さんの排尿状態を把握し、現場のスタッフへ適切な排尿ケアの提案や指導をおこないます

泌尿器科医師 谷風 三郎

おしっこを溜める・出す機能（下部尿路機能）の精密検査や、薬物療法をおこない治療します。

看護師

村上 智恵子

患者さんの体や排尿状態を把握し評価。病棟看護師へ残尿測定（※）の指導や患者さんへ自己導尿（※）の指導、おむつやパッドの選択などをおこないます。

理学療法士 池口 裕子

歩く、トイレへ行くなどの日常生活動作を評価し、トイレ動作をおこなうときにつかう筋力を向上するためのリハビリを計画・実施します。

※残尿測定…排尿直後に膀胱内にどれくらい尿が残っているかを調べる検査
※導尿…尿を上手に出せなくなってしまった場合にカテーテルと呼ばれる管を尿道から入れて出す方法

チームが目標としていいます。排尿は、生活する上で切っても切れない問題ですが、排尿トラブルがあっても恥ずかしくて相談しにくい雰囲気があります。誰もが人生の最期までトイレでの排泄をしたいという思いを持っていきます。排尿ケアチームはその思いを尊重し、病院スタッフ全体が排尿に関する知識・ケアを身につけることで、入院中から退院後の生活を見据えて患者さんが排尿自立できるように日々活動しています。



チーム活動についての情報共有を目的とした委員会の定期的な開催や、職員を対象とした勉強会をおこない排尿ケアにおける院内全体のレベルアップを図っています。



手術後に尿道カテーテルを抜いた後、尿がでにくくなった患者さんが自力で排尿できるようになるまでのながれ（一例）

患者さんの動き

排尿ケアチームと病棟スタッフの主な動き

入院

手術に備えて尿道カテーテル留置

手術

カテーテルを抜く おしっこが出ない！

一時的な機能的麻痺などのため

排尿ケアを開始

- ▶ 定期的に声掛けして排尿を誘導
- ▶ 看護師による導尿（残った尿を出して感染症防止）
- ▶ 排尿時やトイレへ行くために必要な筋力のリハビリなど

なかなか改善がみられない…

泌尿器科受診

検査実施・薬の処方

- ▶ 薬を飲みはじめる
- ▶ 自分で導尿をはじめる

OK!
導尿や薬のおかげで下部尿路機能が回復してきた！

自力で排尿できるようになった！

退院

外来通院

病棟看護師が排尿トラブルが起こる可能性を推測し、排尿ケアチームへ連絡する。

- **患者さんの情報収集**（入院前の日常生活動作・既往歴など）
- **排尿ケアチーム病棟回診を開始**（自力でおしっこが出るまで）
毎週病棟看護師と情報共有し意見交換。患者さんの状態やニーズに合わせたケアを提案する。
- **術後にトイレへ移動できるかを確認する（理学療法士）**
病棟看護師に安全な排尿の誘導方法や、介助バーの設置、ポータブルトイレの位置など環境整備を提案し、実施する。

病棟看護師が1回の排尿量や残尿量を計測し、排尿回数や尿失禁の有無を排尿ケアチームに連絡する。

排尿自立を目指した排尿ケアを計画し実施する

- 週に一度、排尿動作や排尿状況、下部尿路機能を評価して病棟看護師と一緒に状態に合わせたケア内容を検討する。
- 導尿など専門的な排尿ケアが必要な場合は、病棟看護師に指導する。
- 理学療法士が排尿時に影響がある骨盤底筋の筋力アップや、トイレへ行く動作で必要なリハビリなどを適切におこなう。



各職種の視点から意見交換する病棟回診



病室にて骨盤底筋訓練の実施



充実した専門スタッフによるリハビリの提供

急性期治療後、速やかに生活動作や自力排尿を目指したリハビリテーションを開始しています。

泌尿器科への受診を提案

排尿状況などから、適切なタイミングで泌尿器科での検査・治療を判断する。

病棟看護師が患者さんへ導尿の方法を指導する。

退院後も泌尿器科外来で継続的にサポート

下部尿路機能の回復が必要な方で、退院後も内服薬や導尿が必要な方に外来で継続的にケアをおこなう。



排尿ケアをおこなううえで、排尿状態を把握することは必要不可欠！

病棟看護師は、患者さんの排尿状態（排尿時間や膀胱内の残尿量など）をこまめに記録しています。その情報を元に感染症の予防や下部尿路機能を評価し適切な排尿ケアに繋がっています。頻回に測定が必要な残尿量は、からだへの負担が少ない超音波で調べることができる残尿測定器を積極的に使用しています。



排尿直後に機器を数秒腹部に当てて残尿量を測定。



残尿がまだあるなあ…
気を付けてみていかないと。

残尿量が300ml以上ある場合は導尿や医師診察が必要。導尿など排尿ケアをおこないながら残尿量が200ml未満になるまで経過を観察します。

退院後や普段からおしっこが出にくい・頻尿など排尿についてお困りの場合は、一度ご相談ください。 **（お問い合わせ）泌尿器科外来**



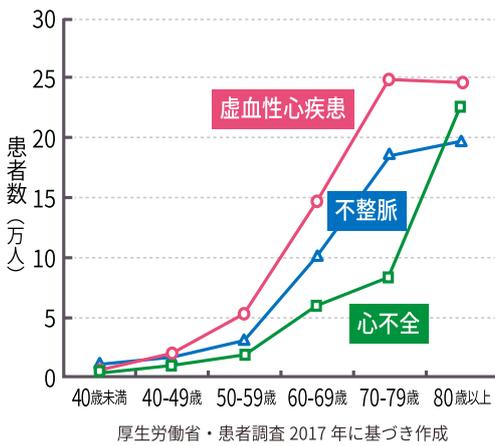
チーム八鹿病院
健康センター

動脈硬化を早期発見して 「心臓病」を防ぐ

40歳を過ぎたら人間ドックへ



日本人の死因の第1位は悪性新生物(がん)で、第2位は心臓病です。心臓病には、①心臓の筋肉に酸素を送り届ける血管(冠動脈)が狭くなって胸痛や息切れが生じる(虚血性心疾患(狭心症や心筋梗塞))、②脈が乱れたり異常に早くなったり遅くなったりする不整脈(心房細動など)、③心臓の肥大や収縮低下により息切れやむくみが生じる心不全などがあります。図は、主な心臓病の患者数を年齢別に示したものです。心不全は80歳以上で急激に増加するのに対し、不整脈は60〜70歳代に増加し、虚血性心疾患



はもっと早く50歳代から急激に増加することがわかります。心臓病は進行してから治療を開始してもなかなか治りにくいいため、早期に発見して進行を防ぐことが重要です。したがって40歳を過ぎれば、毎年1回人間ドックを受けることをお勧めします。

心臓血管動脈硬化ドックでは 検査結果から循環器専門医が診断する

八鹿病院の「心臓血管動脈硬化ドック」は、血液検査・心電図・レントゲン・超音波検査などを組み合わせて、循環器専門医が診断することにより、心臓や血管の異常を症状が出現する前に発見して、早期治療につなげるものです。最終診断のためには、運動負荷試験や造影検査など、追加の精密検査が必要ですが、「心臓血管動脈硬化ドック」では身体に負担の無い検査を組み合わせていますので安心して受けていただけます。

「人は血管とともに老いる」と言われます。血管の狭窄や心臓の肥大・収縮低下など動脈硬化の兆候を早期に発見して心臓病の進行を防止するために、「心臓血管動脈硬化ドック」をご利用ください。

充実した検査で心臓と血管の状態を細かく調べます

超音波検査(エコー)で 視覚的に心臓や血管の変化を調べる

超音波検査で視覚的に血管や心臓の変化を発見します。苦痛もありません。



頸動脈エコー

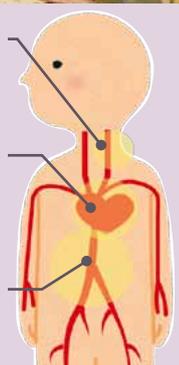
脳に血流を送る頸動脈の狭窄や動脈硬化を発見します。

心エコー

心臓の形や動きを観察し、弁膜症、心筋症、心不全などを発見します。

腹部血管エコー

腹部の大動脈瘤とその枝のこぶ(大動脈瘤)や狭窄などを発見します。



血圧脈波検査で動脈硬化の進行度を調べる



血圧脈波検査は、血管の硬さと詰まり具合を測定し、動脈硬化の進行度を知ることができます。健康な人の平均値と比較し血管年齢(年代)も判定できます。

痛みはなく、所要時間は約5分!

仰向けに寝た状態で、両手両足首の血圧と心臓から伝わる脈波を測定します。

心臓血管動脈硬化ドックのコース料金

単独コース

料金 44,000 円(税込)

身長・体重測定/血液検査/胸部レントゲン/心電図検査/血圧脈波検査/頸動脈エコー/心エコー/腹部血管エコー

オプションコース

料金 27,500 円(税込)

半日・通院2日コースに追加できます! 血圧脈波検査/頸動脈エコー/心エコー/腹部血管エコー

詳しくは当院ホームページをご覧ください。(お問い合わせ) 健康センター



町口 敏彦 医師

内科(腎臓内科) 非常勤医師

患者さんとお話するのが好きと話す町口医師。「本当なら30分でもしゃべって説明したいくらい(笑)」

プロフィール

兵庫県たつの市出身。徳島大学卒。姫路医療センターで研修後、大阪赤十字病院などで腎臓内科として修練。その後、2年間アメリカへ留学し腎臓再生医療の研究を開始。帰国後、県内各地の病院で非常勤医師として診療しながら、京都大学再生医科学研究所、現在は関西学院大学(生命環境学部)にて腎臓再生医療の研究も続けている。2020年8月にはヒトの幹細胞から生体内で機能する腎臓組織の作製に世界で初めて成功し、論文発表。今後は腎臓の再生医療の実用化をめざしている。

診療日 毎週火曜日(予約制)

(お問い合わせ) 内科外来

令和4年1月から、当院の腎臓内科で診療応援をいただいている町口医師にお話しを伺いました。

腎臓専門医として外来を立ち上げたい

よく診ている腎臓の病気は、腎不全やネフローゼ、慢性腎炎などがあり、他院では透析治療も担当しています。

但馬地域の患者さんの特徴としては、高血圧性の腎障害の方が多いなという印象をもっています。寒さの影響もあって皆さん塩分をたくさん摂っておられるのかな？八鹿病院では、南但馬や香美町の方の腎臓の病気を診ることができるよう、しっかりと外来を立ち上げたいと思っています。

おしっこがおかしいときは腎臓専門医へ

腎臓内科の病気で一番の症状といえば、「おしっこが泡立つ」「真っ赤なおしっこ(血尿)ができる」などがあります。直接八鹿病院へ来てもらっても診察は可能ですが、おしっこがおかしいなと感じたと

き、まずは開業医の先生に診てもらって、

詳しい検査が必要な場合にこちらへ紹介してもらおうという流れが一番だと思えます。腎臓の病気は、足がむくむ以外にまず症状が出にくいもの。健康診断などで腎臓が悪いことがわかったら、一度は早めに腎臓の専門医を受診してほしいです。

診療のなかで大切にしていること

腎臓疾患の患者さんは、食事治療が一番大事です。塩分制限、たんぱく制限など食事治療を守ってもらって、それ以外に必要時に薬を追加していく。そのため、患者さんにしっかりと話をして説明して納得してもらうことを心がけています。気長な話ですが、10年、20年後に透析治療が必要とならないように、最初に患者さんとお話ししていきたいなと思っています。



安心できる言葉かけ

9病棟
看護師 足立 朋美

かんごぶ
看護部だより



病室でオンライン面会に立ち会う足立看護師

私は、病状が落ち着いた後、継続して看護ケアが必要な方が療養生活を送るための病棟に勤務しています。現在、感染対策のため面会制限があり、患者さんとご家族が会えない状況にあります。当院では画面越しではありますが、「オンライン面会」で姿を見て対話していただいています。久しぶりに患者さんの姿を見られ、笑顔になられたご家族を見るのが私にとって励みになっています。

私は、ご家族が洗濯物の交換で来院されたときには、面会していただけない分、患者さんの状態や日常生活の様子をお伝えするように心がけています。

コロナ禍で制限がかかる中、患者さんとご家族が安心できるように、コミュニケーションを取りながら支援していきたいと思っています。

教えて！
健康
コラム

低線量CT検診と放射線被ばく

副院長 放射線科 小山 司



当院では2017年から、肺がんや大動脈瘤の発見を目的にCT検診をおこなっています。

皆さんもご存知だと思いますが、CT検査には放射線被ばくがあります。図1に代表的な被ばく線量を示しますが、胸部レントゲンで0.1ミリシーベルト、通常のCT検査で20ミリシーベルト程度の被ばくがあります。CT検査は病気の発見に有用で、被ばくのリスクは一般に小さいですがゼロではなく、医師が適切に判断してCT検査をすすめています。放射線量を増やすと画像は鮮明になりますが、放射線被ばくが増します。全身をCT撮像すれば色々な病気が分かるかもしれませんが、被ばくが増え検診で使うには適当ではありません。

そこで当院のCT検診は、被ばく軽減のため線量でおこない、被ばく量は2〜3ミリシーベルトで通常の10分の1ぐらいにおさえています。低線量でこなえば画質は少し悪くなりますが、肺は低線量でも比較的良好的な画像が得られ、肺がんなどの発見に役立ちます(図2)。大動脈瘤に関しては動脈径を主体に検査すれば病気の拾い上げは可能と考えました(図3)。

肺がん・大動脈瘤以外の病気が写ることもある

低線量CT検診は、胸部から下腹部まで検査するため、画質は悪いですが他の臓器が写ります。時に、

【CT検診による画像】

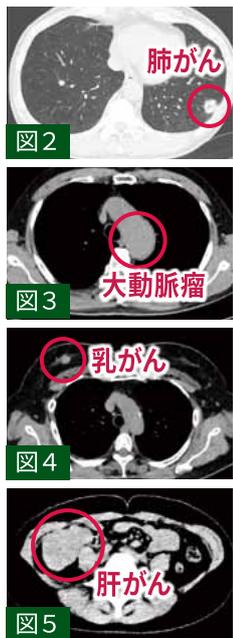
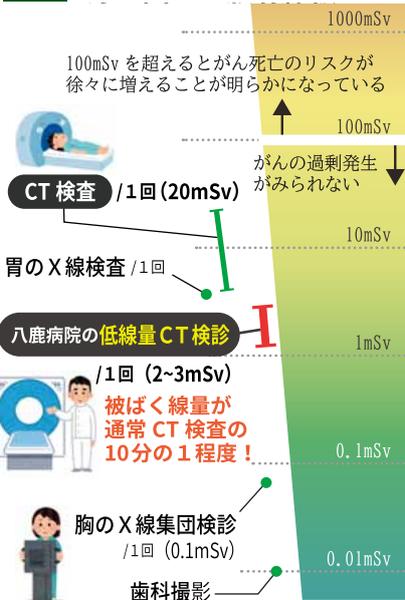


図1 【主な被ばく線量のめやす】



放射線医学総合研究所「放射線被ばくの早見図」を参考に作成

目的以外の病気(乳がん・肝がん(図4・5))なども発見されることがあります。我々、放射線科医は画像を念にチェックしますので巨大な腫瘍などを見落とすことはありません。しかし、あらゆる病変が発見できるものではありませんので、低線量CT検診で異常がないからといって100%大丈夫とは思わないでください。また逆に、正常なのに異常と判定されてしまう場合(疑陽性)もあります。これらの点をふまえて積極的に検診を受けていただけたらと存じます。

面会を原則禁止しています

(令和4年3月31日現在)

患者さんのご家族をはじめ皆さまには大変ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

例外的に面会が可能な方

- 入院日・退院日
- 手術日
- 病院からの呼び出し時

- 発熱・咳等の症状のある方は面会は不可
- 面会者は1名のみ(成人家族または介護者)に限定
- 面会時はマスク着用の上、10分以内
- 洗濯物はエレベーターホールで看護師に受渡し(13時~16時)
- 手術時の家族待機は「自宅待機」または「1階フロアで1名のみ待機」

オンライン面会をご利用ください

オンライン面会は、面会希望の方に当院(1階)へ来院していただき画面を通じて会話をおこなう形式です。

- 【面会可能対象者】 当院に入院されている方のご家族(2人まで)
- 【利用時間】 1回10分程度 週1回までの利用
※病棟ごとに曜日・時間が決まっています。

- 【予約方法】 面会希望日の3日前までに電話予約
(予約受付時間) 平日14時~16時(土・日・祝日は除く)

(お問い合わせ・お申し込み) 各病棟



2/7

ワクチン追加接種（3回目）開始

当院がかかりつけの患者さんを対象とした新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目）が始まり、予約された患者さんが接種を受けられました。今後も、患者さんが安心・安全に接種を受けられるよう、職員一同、気を引き締めてまいります。



2/18

看護師新人研修 血管留置針の手技を学ぶ

当院看護部の新人教育として、新人看護師（1年目）が血管留置針を安全に実施するための研修を受けました。演習では人の体ではなく血管モデルに留置針を刺すもので、参加した新人看護師は緊張しながら真剣に取り組んでいました。



2/25

TQC 大会 優秀発表賞は「薬剤部」に決定

今年のテーマ「一人一人のレベルアップによる全体のレベルアップ」

当院では、積極的な業務改善を図るために、各部署がテーマに沿って活動・発表するTQC大会を毎年開催しています。優秀発表賞には、国を挙げて取り組みが推進されているポリファーマシー対策に取り組んだ薬剤部が選ばれました。

【ポリファーマシー】多くのくすりを服用しているために、副作用を起したり、きちんとくすりが必要なくなったりすること

20 演題の中から職員の投票で順位を決定しました。



3/4

看護専門学校卒業証書授与式 3年生17人が巣立ちました

公立八鹿病院看護専門学校第27回卒業証書授与式を挙行政し、3年生17名が立派に卒業しました。コロナ禍での学生生活、さまざまな思いがあったと思いますが、これをバネに思いやりのあるあたたかい看護師を目指して成長していただきたいと思います。



3/10

八鹿病院の今年の MVP は 院内助産チーム（4 病棟）が選ばれました！

第8回八鹿病院 MVP 表彰に、産科医師をサポートし院内助産で地域のお産を支える院内助産チーム（助産師）の皆さんが1位に選ばれました。

八鹿病院 MVP 表彰は、当院スタッフの中で功績・業績を上げた方、目立たないが善いおこないを続けている方などの努力や姿勢を称え、毎年表彰者を選んでいきます。



3/17

2年次研修医の研修修了発表会を開催

3名の研修医が2年間の臨床研修を終え、院長より一人一人に修了証が手渡されました。また、修了する研修医より、2年間研修医として過ごした中で学んだことや思い等を話していただきました。

無事、研修修了を迎えられた3名の先生方、おめでとうございます。今後ますますのご活躍をお祈りいたします。

公立八鹿病院組合 正規職員募集

詳しくは、当院のホームページ
をご確認ください！

令和5年度正規職員募集

職種・募集人数	受験資格	申込締切・試験日・採用日等
看護師・助産師 40名	昭和53年4月2日以降に生まれた者 で資格取得者または取得見込みの者 (採用年度45歳以下)	【試験日①】令和4年5月15日(日) (申込締切:5月6日必着) 【試験日②】令和4年7月10日(日) (申込締切:6月30日必着) ※試験②については、試験①で募集定員を 充足した場合は実施しません。 【採用日】令和5年4月1日予定
薬剤師 1名	昭和59年4月2日以降に生まれた者で 資格取得者または取得見込みの者 (採用年度39歳以下)	【申込締切】令和4年6月30日(木)必着 【試験日】令和4年7月10日(日) 【採用日】令和5年4月1日予定
臨床検査技師 2名		

令和4年度正規職員募集

急募

職種・募集人数	受験資格	申込締切・試験日・採用日等
介護福祉士 4名	昭和52年4月2日以降に生まれた者で 資格取得者	【申込締切】令和4年5月6日(金)必着 【試験日】令和4年5月15日(日) 【採用日】令和4年6月1日予定(相談可)

◎看護師・助産師、介護福祉士は、正規職員のほか「フルタイム・パートタイム
会計年度任用職員」などの募集もおこなっています！

※資格免許取得(卒業)見込みの方は、
免許取得(卒業)が採用の条件です。

【お問い合わせ・お申し込み】公立八鹿病院 人事会計課 電話：079-662-5555(代) Mail：jinji@hosp.yoka.hyogo.jp

医師異動のお知らせ

【新任医師】よろしくお願ひします 令和4年4月1日付



【内科】
おおはた としひろ
大畑 俊裕
(循環器担当)



【内科】
なんの はるひこ
南野 治彦
(脳神経内科担当)



【内科】
たかまさのぶ
高木 真信



【内科】
あしざき りさ
芦崎 理沙



【内科】
くさかべ かおり
草壁 香帆里



【内科】
しなの たけし
仕名野 剛史



【内科】
はせ たくや
長谷 拓也



【外科】
あだち ゆかり
安達 祐里



【外科】
こさか しゅうへい
小阪 周平



【整形外科】
さかもと りゅうじ
坂本 龍之介



【麻酔科】
かたふち はるか
片瀨 遙



【放射線科】
たはら あおい
田原 葵



【研修医】
おだかき あきひろ
小田垣 徹大



【研修医】
さとう みずき
佐藤 瑞季

【退任医師】

お世話になり、
ありがとうございました
令和4年3月31日付

【内科】池田 彩
【内科】丸田 咲紀
【外科】杉田 裕
【外科】植村光太郎
【整形外科】岩井 俊介
【整形外科】山本 節
【放射線科】仕名野聖太郎
【研修医】小林 和樹

【転任医師】

令和4年3月31日付
【内科】作永 瑞希
(公立村岡病院へ)



[編集・発行]

公立八鹿病院 (担当) 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1

TEL 079-662-5555(代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>



マスク着用・手洗い・手指消毒・
密を避けて感染を予防しよう！



公式 Facebook 情報発信中！

公立八鹿病院

いいね！
お願いします！